

# とみおかまち 支援員だより



福島県  
富岡町



vol.19

[発行日]  
2023年3月3日

発行 富岡町県外避難者支援拠点事務所 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21 一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会 内

お困り事など、どうぞお気軽に!  
連絡待っているっぴ



TEL 048-832-0600

FAX 048-833-8746

MAIL tomioka\_saitama@eos.ocn.ne.jp



## えびす講市ツアーツアー



第92回えびす講市が令和4年11月12日(土)に富岡第一小学校跡地で開催され、支援員含め16名で参加してきました。

小春日和の中、予定より早めに到着したところでちょうどフラダンスが始まり、我々一行を歓迎してくれたかのようです。最後の大抽選会まで参加できなかったのは少し心残りですが、その後も渡辺俊美さんの“ふるさとを歌う”コンサート、大道芸カラーコーン積み上げとステージを楽しみました。



えびす講市



富岡町派遣として  
支援を担当された  
杉戸町役場職員と再会



とみおかアーカイブ・ミュージアム

続いて『とみおかアーカイブ・ミュージアム』の見学。館長の説明を聞いた後、館内を自由に見て回りました。富岡町ジオラマの前では、職員の方より一軒ずつ調べて作ったとお聞きし、皆さんそれぞれにご自宅を確認されていました。1時間の見学を終えバスへ向かった時に“しずおかお茶っこ会”的なバスの方々が降りてきました。「あらっ?」「あれ~」と驚きと喜びに満ちた声が上がり、懐かしそうに手を取って、つかの間の再会を楽しんでいたのが印象的でした。

翌日はバスの車窓から夜ノ森駅、さくら通り、夜ノ森公園、とみおかワンドメーヌ、富岡漁港、富岡駅と町内を一回り。変わってしまった故郷を見ながら上がる歓声に懐かしさと寂しさが交互に胸溢れる様子が伝わってきました。

震災からもうすぐ12年が経過しようとしています。故郷に帰る機会が少なくなりましたが、令和5年度もツアーリーを計画しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

## 富岡ホテルでの集合写真 /





## 第13回 ふるさとコミュニティINかながわ

11月19日(土)に神奈川県横浜市にある波止場会館で、13回目の「ふるさとコミュニティINかながわ」が開催され、避難者30名が参加しました。富岡町の市民も4名の参加があり、久しぶりに会えた市民の方同士が笑顔で喜ぶ姿が見られました。会場では、生け花体験やバザー、ステージでは、聖光学院吹奏楽部や標葉せんだん太鼓の演奏、お笑い芸人のだめじゃん小出のステージが行われ、市民も参加し大盛況でした。



白土 栄一さん  
(名取市)

今回は、宮城県名取市の「かわまちてらす閑上」でSUP(スタンドアップパドルボード)の普及に尽力している白土 栄一さんをご紹介します。SUPは、お子様からお年寄りまで気軽に楽しめるマリンスポーツです。白土さんは、昭和30年代からサーフィンを始め、健康の秘訣は体を動かすことと話されていました。国土交通省に名取川堤防の改修工事の交渉を行い、今春にはSUPを中心としたレジャーやバーベキューなどが楽しめるようになります。また、上手岡にも「富岡ベース」を立ち上げ、昨年は東京の大学生30人とSUPで、ろうそく岩付近の海から富岡の町を見もらったのです。将来的には富岡の海でSUPを広めたいとの夢があります。現在の「富岡ベース」は、大自然が満喫できるスポーツの拠点として活動をしています。これから的人生を富岡町の復興にとの熱い思いで取り組んでいます。



富岡ベース



SUPはボードの上に立って漕ぐスポーツ

### 富岡町県外避難者支援拠点事務所のある街

富岡町県外避難者拠点事務所は、埼玉県さいたま市浦和区のときわ会館にあります。浦和区は、江戸時代には中山道の宿場町として栄え、近郊の沼で取れた味の良い鰻の町としても評判となりました。昭和には文化人が移り住み、今では教育機関など多くの施設が集まっています。また、埼玉県のサッカー発祥の地でもあり、Jリーグの浦和レッズのホームタウンもあります。近年では、高層マンションが多くなり、人口も増え住みたいまちとして、支持されるようになりました。12月12日には、鳥居がなく、狛犬が狛兎の調神社(つきのみや神社とも)で十二日まち(じゅうにんちまち)という歳末市(酉の市)が開催され、例年約1000店の露店が出展し賑わいます。



ときわ会館



酉の市と神社



「埼玉サッカー発祥の地」銅像



### 編集後記

まだ寒い時期ですが、皆さんどうお過ごですか? 気軽に人と会うことができなくなり3年が経ちますが、お体に変わりはございませんか? 運動不足で体重が増えた方や、会話をすることが減ってしまった方もいらっしゃると思います。日常を取り戻せる日も近いと信じましょう。